

フェノプロフェンカルシウム 200mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に水 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 30 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 3mL を正確に量り，水を加えて正確に 10mL とし，試料溶液とする．別にフェノプロフェンカルシウム標準品（別途水分を測定しておく）約 0.018g を精密に量り，水に溶かし，正確に 250mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，吸光度測定法により試験を行い，波長 271nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 30 分間の溶出率が 80%以上のとき適合とする．

フェノプロフェン($\text{C}_{15}\text{H}_{14}\text{O}_3$)の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times \frac{484.54}{522.61} \times 1200$$

W_S ：脱水物に換算したフェノプロフェンカルシウム標準品の量 (mg)

C ：1 錠中のフェノプロフェン ($\text{C}_{15}\text{H}_{14}\text{O}_3$) の表示量 (mg)

フェノプロフェンカルシウム標準品 日本薬局方外医薬品規格「フェノプロフェンカルシウム」．ただし，定量するとき，換算した脱水物に対し，フェノプロフェンカルシウム ($\text{C}_{30}\text{H}_{26}\text{CaO}_6$) 99.0%以上及びカルシウム (Ca) 7.5～7.8%を含むもの．